

・まちづくり月間の趣旨

住民一人一人が生きることには喜びと生きがいを味わえる生活空間を形成していくためには、住民の積極的な参画のもとに創意と工夫を活かしたまちづくりを推進することが必要です。

このため、昭和58年から毎年6月を「まちづくり月間」と定め、様々な広報活動や行事の開催等を通じて、まちづくりに関する啓発活動を幅広く実施しています。

月間中には、まちづくり月間後援・協賛団体からなるまちづくり月間実行委員会や地方公共団体が中心となって、シンポジウム等、多彩な催しが全国各地で開催されます。

・まちづくり月間のテーマ

今、我が国が人口減少・超高齢社会を迎える中で、都市の拡大成長を前提としたこれまでのまちづくりから、まちなかの既存ストックを有効活用しつつ、高齢者も含めた多くの人にとって暮らしやすいコンパクトな都市構造、「歩いて暮らせるまちづくり」へと、基本理念を転換する時期に来ています。このような中では、地域の人たちが、まちのあるべき姿を考え、ビジョンを互いに共有し、連携して、まちをつくっていくことが求められています。それはまさに、人と人、コミュニティとコミュニティ、といった横の関係を“つなぐ”ことです。また、まちを支え、形づくっている都市基盤施設や建築物等について、そのまちに固有の歴史や文化と同じように、まちの大切な財産として受け継ぎ、より一層良いものへと育み、世代から世代へ“つなげていく”こと、つまり、まちを適切に整備・保全し、維持・管理することによって次世代により良いまちを残していくことが必要です。

このようなことから、「つなぐ・つなげるまちづくり」のテーマのもと、まちづくりに関する啓発活動を展開することとします。